

青森市しごと創造戦略（案）について

・当該戦略は、会議での意見や取組の提案を踏まえ、第1次産業から第3次産業までの幅広い分野において、産学金官が「共創」により取り組む青森市のしごと創りに向けた指針として策定
 ・対象期間：令和6（2024）年度から令和15（2033）年度の10年間

戦略の柱(5)と共創施策(13)		共創プロジェクト(29 ※再掲3を含む)	KPI(2033年度目標)
1 地域経済に活力を生み出す 新産業の創出	1 GX関連産業参入・脱炭素経営の推進	①洋上風力発電事業への市内事業者の参入支援 市内事業者の洋上風力発電に関する専門人材の育成・確保やサプライチェーン参入に向けた取組を検討 ②市内事業者・立地企業の脱炭素化の推進(1-2-③へ再掲) 市内事業者の脱炭素化に向けた取組や、再生可能エネルギーを付加価値とした企業立地に向けた取組を検討	青森港を利用する洋上風力発電事業者数(累計) 0件 → 3件
	2 成長分野等の企業立地	①洋上風力発電事業プロジェクト誘致による企業立地 青森港への複数の洋上風力発電事業プロジェクト誘致と風車メーカーや部品等のサプライヤーなどの関連産業の集積に向けた取組を検討 ②浮体式洋上風力発電のハブ港化 浮体式洋上風力発電の浮体式基礎の製造や風車の組立・保管・出荷に係る機能を有するハブ港化に向けた取組を検討 ③市内事業者・立地企業の脱炭素化の推進(1-1-②の再掲)	青森港を利用する洋上風力発電事業者数(累計) 0件 → 3件 立地事業所数 3件 → 3件
	3 仕事・新規事業創出の推進	①若年層への新たな起業・創業支援 若年層を主なターゲットに、持続的なビジネス展開が可能となるプランを産学金官の連携により立案、提供し、伴走支援を通じて魅力的なしごとの創出につなげる支援スキームについて検討	創業件数 80件 → 80件
2 新時代を先導する 産業の競争力・基盤強化	1 DX・デジタル化の推進	①第1次産業におけるDXの推進 ロボット技術やICT(情報通信技術)をはじめとする先端技術の導入などアグリテックによる農林水産業のDX推進に向けた取組について検討 ②副業人材を活用した地域企業のDXの推進 DXに精通している人材が不足している本市において、労働力不足の解消や専門性の補完として、副業人材を活用した地域企業のDXの推進に向けた取組について検討 ③市内情報通信事業者等の支援・育成 情報通信関連の学部を有する大学との連携のもと、市内情報通信事業者をはじめとする市内企業等におけるデジタルリテラシーを有する人材育成・獲得に向けた取組について検討 ④DX推進コミュニティの形成 地域企業・支援機関・情報通信事業者等の事業者間の相互交流・相互支援を促進するDX推進コミュニティの形成に向けた取組について検討	ITツール等導入事業者数(累計) 91件 → 631件 スマート農業機器導入件数 10件 → 30件
	2 付加価値・ブランド化の向上	①高速・高鮮度による高付加価値化(3-2-③へ再掲) 物流拠点としての機能を生かし、航空機や新幹線を活用した高速輸送により、高い鮮度のまま実需者に届ける取組を検討 ②地場産原材料を使用した新たなビジネスモデルの創出(3-1-①へ再掲) 地場産原材料を使用した付加価値の高い商品の開発からマーケティング、プロモーション、販売まで、地域の食品産業を中心とした多様な関係者が連携して実施する取組について検討 ③農産物の機能性等に着目した差別化と高付加価値化 機能性(栄養や嗜好など)や独自性(GI登録産品など)に着目し、機能性表示食品の開発などの高付加価値化や農産物の他産地との差別化による訴求力向上と販路拡大について検討	ふるさと納税返礼品の新規登録商品数 67件 → 67件
	3 経営の安定化・基盤強化	①多様な形態の事業承継支援 起業・創業希望者と事業承継を検討する地域企業とのマッチングや移住・定住策と事業承継の連携など、起業・創業や移住・定住と事業承継を組み合わせた取組について検討 ②まちづくりを支援する資金調達スキームの構築 金融機関との連携のもと、経営上の課題や地域課題の解決などを通じて、域内経済の活性化に貢献する事業者を支援する資金調達スキームについて検討	AOMORI STARTUP CENTER相談者数 329人 → 329人
3 域内外の需要を獲得する 産業の育成	1 地域内経済循環の向上	①地場産原材料を使用した新たなビジネスモデルの創出(2-2-②の再掲)	製造品出荷額等 1,175億円 → 1,669億円
	2 物流・ECを活用した販売力強化	①本市の魅力の情報発信強化 本市が有する観光コンテンツや物産、商店街などの地域資源の魅力と、ふるさと納税に関する情報の一体的・効果的な発信や、観光と物販を連動させた販売促進に向けた取組について検討 ②クルーズ船への本市産品供給による販路拡大 青森港に寄港のクルーズ船内で提供する食材や地場産品として、本市農林水産物や民芸品などの供給による販路拡大に向けた取組について検討 ③高速・高鮮度による高付加価値化(2-2-①の再掲)	AoMoLink～赤坂～売上額 37,356千円 → 52,356千円
4 国内外からの誘客につなげる 観光の振興	1 立体観光推進・受入態勢充実	①クルーズ船の受入態勢強化 クルーズ船乗客の市内における観光消費額の拡大につなげる、中心市街地のまち歩きや市内周遊などを促進するための取組について検討 ②通訳ガイドの育成 外国人観光客の満足度向上及び地域消費を引き出し、外国語を用いた観光案内を生業として行うガイド人材の育成に向けた取組について検討 ③手ぶら観光の導入 観光客が大きな荷物を持ち運ぶ不便を解消する「手ぶら観光」の導入に向けた取組について検討 ④MICE誘致 青森ならではのMICEツアーの造成やユニークベニューの企画・開発等に向けた取組について検討	主要宿泊施設宿泊客数(延べ人数) 1,109,980人泊 → 1,490,000人泊 同 外国人宿泊客数(延べ人数) 102,569人泊 → 263,000人泊
	2 魅力を高める観光資源の創出	①観光コンテンツ等の高付加価値化 本市が有する魅力的な観光コンテンツや飲食、小売、宿泊などの観光関連産業が提供するサービスにおいて、新たな付加価値の創出や高付加価値化を図る取組について検討 ②観光事業者の育成 本市の地域資源を用いた体験型観光コンテンツを造成・展開する観光事業者の育成に向けた取組について検討	観光入込客数(延べ人数) 4,616千人 → 6,220千人 冬季観光入込客数(延べ人数) 1,634千人 → 1,876千人
5 未来を切り拓く 産業人材の育成・確保	1 若者等の地元定着推進	①地元企業への理解を深める取組の推進 学生、保護者等への市内事業者の魅力発信の強化や、自社ではインターンシップを実施できない市内中小企業での受入に向けた取組について検討 ②働きがい向上モデル企業の創出・普及 働きがいのある職場づくりにより、従業員のエンゲージメントを高める取組を推進するモデル企業を創出し、市内事業者への普及に向けた取組について検討	地元就職に関する相談件数 209件 → 209件
	2 環境変化を捉えた人材育成の推進	①市内外の大学間の連携強化 市内大学と理工系を含む市外大学間での教員の派遣やオンライン講義及び単位互換の実施など、市内外の大学の連携による人材育成に向けた取組について検討	ビジネススクールの受講者数 464人 → 474人
	3 ダイバーシティ経営の推進	①多様な働き方導入等モデル企業の創出・普及 多様な働き方の導入や成長分野における専門的人材の活用を行うモデル企業を創出し、市内企業への普及に向けた取組について検討	青森市が継続的に働ける場が確保されている点で住みやすいと思う市民の割合 8.4% → 8.8%